

## クラブサービス部門担当委員会報告

### 例会担当委員会 ●委員長 富田哲雅



当年度の例会担当委員会は、ジェニファー・ジョーンズ RI 会長の「イマジン ロータリー」と本條会長の「Be Rotarian」という2つのテーマに沿い、そして、創立以来の「親睦こそ我がクラブ」というモットーを礎にして、一年間、活力溢れ、魅力ある例会の管理運営に努めます。

私個人としては、これまでロータリーの例会を学びの道場と親睦の場と考えて来ましたが、どちらかと言えば、親睦より学びの道場としての例会に重きを置いて来ましたが、最近、コロナ禍で会員減少が愈々深刻になる中で、会員相互を深く結びつけ、絆を創る親睦こそが例会の第一であると認識を改めました。

ロータリーの奉仕の理想は、会員自身がロータリーの例会に何を求めるかによって実現されていきます。その為に、ロータリアンが例会で、自らの質や品を高めることを学び、努めなければなりません。また、ロータリーの利他の思想に従い、ロータリーから多くを得る為には会員相互の親睦を深め、コミュニケーションを密にすることも大切ですが、ロータリーから TAKE ばかりではなく、ロータリーに GIVE するように努めることも大切だと考えます。

今年度の例会担当委員会は Be Rotarian になる為に、ロータリーの例会をこの様に考え、そして、RI の DEI の考えに沿い、会員の皆様の意見を取り入れながら、楽しみながら実のある例会運営に努めたいと存じますので、会員の皆様に於かれましては一年間ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

#### 1. 基本方針

本年度も例会運営に COVID-19 の影響が懸念される状況下で、会長、幹事、SAA と緊密に連携を取りながら、例会運営を行い、また、会員相互の親睦を深め、有意義な例会となることに重点を置いて、例会の管理運営に努めて参ります。

#### 2. 活動内容

(1) COVID-19 の影響下で、その予防策を講じながら、新たな例会スタイルを模索し、また、前年度に続きリモートを取り入れて、基本方針に沿った例会運営に努めます。

(2) 例会行事・卓話予定は既に配布した資料の通りで、その管理運営に努めます。

原則として、卓話のテーマは自由ですが、卓話時間は30分です。

卓話は例会を構成する重要な役目があります。例会が楽しくて実りあるものである為には、テーマこそ自由ですが、会員夫々のひと工夫頂ければ幸いです。

卓話の予定は資料にある他、週報に掲載致します。週報掲載用の原稿は従来通り、事務局まで速やかに提出してください。また、会員減少の為、今後、卓話をお願いする頻度は増えるかと思いますがどうぞご了承ください。

(3) 新会員の卓話は入会事情を鑑み、柔軟に対応します。

(4) 当委員会は、2023年2月16日に講師による例会担当委員会アワーと2023年4月6日創立記念例会(夜間)の開催を計画します。

### 会員増強委員会 ●副委員長 池田和由

#### 1. 基本方針

ロータリーにおける会員増強は、かけがえない友との出会いのための、そして様々な年間プログラムを精力的に実行していくための最も重要なクラブ奉仕であると考えます。

情報ネットワークが発達しコミュニケーションツールが多様化した近時ではありますが、週に一度リアルに顔を合わす仲間が増えることはクラブの何よりの活性化に繋がり魅力を高めてくれます。

以上のことにより、年代、職業の垣根を越えた仲間作りを支援して参ります。

#### 2. 活動内容

(1) クラブの会員増強目標は、純増2名です。(数値に拘るものではありません。)

会員増強に係る方針共有と意識付けを目的として、例会プログラム「会員増強委員会アワー」を

(2) 企画運営します。(2022年9月1日)。

(3) 広報委員会に協力し候補者アプローチ用パンフレットの作成に取り組みます。

## 親睦委員会 ●副委員長 福井繁樹



### 1. 基本方針

創立以来の理念である「親睦こそ我がクラブ」の精神を継承し、会員相互の親睦をより深めることに重点を置いて、活気にあふれるような行事の企画運営に努めます。

### 2. 活動内容

#### (1) 来客とビジターの接待

① 来客及びビジターの対応については、例会担当委員会と連携し、座席案内等などの接遇を適切に行います。

② 卓話 ゲストスピーカーは役員席に案内し、スピーチ終了後に粗品を送り謝意を示します。また、後日週報を添えてお礼状を送付します。

#### (2) 会員相互の親睦

① 月初めの例会において、誕生月、結婚月、配偶者誕生月にあたる会員に記念品を贈り祝福します。

② 会員及び家族の慶事には、クラブ規定に則って記念品を贈呈します。

#### (3) 本年度活動計画

##### ① 観月例会の開催 (9月8日)

場所：フォレストステーション波賀

##### ② 家族集会の開催 (6月22日)

#### (4) 会員家族との親睦

① クリスマス家族会 (12月17日) を開催し、会員家族との親睦を深めたいと思います。

② 会員・家族と合同で親睦旅行を行い、相互の親睦を深めます。

#### (5) 他クラブとの交流

西播第2グループゴルフ大会に積極的な参加を要請します。

## 広報委員会報告 ●委員長 片岡孝次



今年度の広報委員会は、ロータリークラブの活動内容を広くご理解いただくこと、および新入会員を一人でも多く呼び入れることを念頭に置いた広報活動を目指したいと考えております。

活動案は次の通りです。

① 新入会員の勧誘にも使える、A3用紙を2つ折りにした「龍野ロータリークラブ広報誌」を作成します。内容は次のようなものです。

表紙では、

「経営者または準じるあなたに問います」とし、

- ・ あなたは、何に重きをおいて“業”に向き合っておられますか？
- ・ あなたにとって、雇用とは何でしょう？
- ・ あなたの“業”に関して、持続可能な17つの開発目標（SDGs： Sustainable Development Goals）に対して、どのように取り組まれていますか？
- ・ CSR活動（Corporate Social Responsibility/企業の社会的責任）について、どのように考え、どのように取り組まれていますか？

と設問を期した後、ロータリークラブの会員は、様々な業の経営者または準じる方々です。親睦活動・卓話・研修・委員会活動などを通して、知らずしらずのうちに、先ほどの4つの問いに対する答えが見つかります。あなたにとってかけがえのない会となるでしょう。とくくる表紙を考えています。

裏表紙は、ロータリークラブが連綿と活動が続ける「ポリオ撲滅活動」の掲載とします。

そして、見開き左ページには、表紙の問いに対する解答例を設けようと考えております。

右ページには、「ロータリークラブの会員でいる」ということについて記載を考えています。

内容は、次のようなものです。

ロータリークラブは、仲良し親睦クラブでも、社会奉仕団体でも、自己研鑽集団でもある、様々な顔を持つ集まりです。

あなたが会員になると、世界中の、全てのクラブにも参加が許されます。

十分な医療を受けられない世界の子供たちへのワクチン接種支援や、豪雨水害地域への支援、海外留学生受け入れなど様々な支援活動に参加することになります。(ただし、飲食1回分、またはゴルフ1ラウンド程度の費用負担を伴うことになります。) 真摯に事業と向き合う会員の、生の話を聞く機会をほぼ毎週得ることとなります。

② 週報の発行について／ 今年度から事務局による構成・発行といたします。何卒ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

・レイアウト構成と、文書校正の時間を圧縮できるよう原稿は Word の文書データでご提出をお願いいたします。

・原稿は、A4・2頁分(2880文字)まで。例会翌日までにメールまたはUSBメモリーを、事務局にお渡しいただくようお願いいたします。

③ ホームページの運用

・決められた手続きに基づき、冒頭に申し上げた方針に基づき運用してまいります。

④ ロータリーの友への投稿

・全ての会員の皆さまに投稿を促すとともに、私そして広報委員自ら率先して投稿を行う決心を固めております。

以上をもって報告とします。

**情報委員会** ●副委員長 藤井まゆみ



1. 基本方針

会員に対してロータリーの理念、目的、歴史などをよく理解する為の情報、又国際ロータリーの動向についての情報を提供することに努めます。

2. 活動内容

(1) ガバナー月信、ロータリーの友誌の記事を中心に、例会もしくはロータリー情報委員会アワーにおいて会員に有効である

と思われる情報を提供します。

(2) 上記事業を行うために外部講師を招聘することもある。

(3) 新入会員に対して適時にロータリー情報を提供し、理解と出席意欲を昂進するように努めます。



1 はじめに

皆様、未熟な幹事ではありますが、これからの1年間、宜しくお願い申し上げます。

この一年間、何とか、本條会長や皆様にご迷惑をおかけすることなく終えたい、そして、できるなら、何とか、ほんのわずかでも、龍野ロータリークラブに貢献し、自分自身も成長したいと願っています。

2 本條会長は、本年度「BE Rotarian」という言葉をテーマとされました。

そして、その言葉を具体化したものとして、「当たり前のことを、当たりまえに」という言葉を示して下さいました。

本條会長がお考えの「当たり前のこと」は、ロータリークラブの会員として、当然と考えられる心のあり方、あるいは、行動のあり方であると、私は考えます。

具体的に考えてみますと、①例会には出来る限り出席し、遅刻はしない、やむを得ず欠席する場合には、2日前には安井さんにご連絡を入れる、②例会には、できるだけご出席していただく、③卓話の際には、お話しくださる方のスピーチに耳を傾け、居眠りはできるだけしないようにする、といったことが含まれるのかなと想像しております。

もっとも、状況によっては、全ての会員が実践することができるとも限りません。例えば、①会員ご自分または家族の体調が思わしくない、②本業の事業にて緊急の対応が必要となる、といった事態があれば、ロータリークラブの活動は、やむを得ず二の次にしなければならないということもあるに違いありません。

個々の会員の様々な状況に思いを致し、会員各位に無理を強いることのないようにしながら、龍野ロータリークラブ全体としては、円滑に、心地よく活動が回っていく、そんなクラブのあり方を、私なりに模索していきたいと考えています。

3 本條会長は、私に、ロータリーの基本精神のうち、ポールハリスのいう「寛容の精神」について、語って下さいました。「寛容の精神」とは、単に失敗に対する寛大さではなく、異質に対する包容力を本質とするということです。

寛容の精神と聞くと、性格の優しさというイメージが浮かびますが、本條会長のこのお話からしますと、理解しようとする積極的な行動と努力が不可欠と考えます。

この一年間、諸先輩方をより深く知り、クラブの一年間の活動がより良いものとなるよう、努めて参りたいと思います。

4 龍野ロータリークラブ会員が、それぞれの持ち味を発揮し合い、全体として、クラブの和敬と親睦につながっていくことを願っております。そして、私は非力ではありますが、この一年間、わずかでもクラブに貢献できればと考えております。

有難うございました。